

津軽みらいの わらしっ子

藤崎町福島

な お
長内 那央 くん (4 歳)
ら く
楽玖 くん (1 歳)

長内祥晴さん・麻衣子さん 夫妻の
組合員名：長内金樹さん

どのような、お子さんですか？

那央くん：明るく活発
楽玖くん：マイペース

お気に入り

那央くん：ワンピース、ポケモン
楽玖くん：恐竜

好きな食べ物

那央くん：からあげ
楽玖くん：バナナ



■津軽みらいのわらしっこ募集中！

お子様・お孫様の写真を広報誌に掲載しませんか？

写真掲載をご希望は、☎0172-44-6081 (総務課：広報係)へ
お気軽にご連絡下さい。

- 掲載条件 ・年齢は0歳～12歳(小学生まで)
- ・原則当JAの組合員または准組合員のご家族であること

文芸の広場

短歌

泣いた子が年を重ねて成長し
胸を張りあげ卒園を迎える
桃の花飾る気分は難まつり
雪どけ待ちて春を呼ぶなり
春一番雪どけ待ちて芽を出して
福寿草が春を運んで来る
猫柳芽ふくらんで春知らせ
子供弾むよ通学路で
木々の葉も色つや増して春迎え
目を楽しませ七色変化
鏡見て老いた姿有り考えつつ
過ぎたる昔よみがえる今
彼岸此岸来世と現世似てるけど
一緒にされぬ現在あるのみ
真夜中に電話のベル鳴り起き出して
受話器取れば無言の電話
アメ横で呼び子につられ買つて来た
チョコレートよなつかし昔
一本の菓結んでつなぎ輪を作り
世界人を入れ平和へと進む
櫻庭さゝ
過ぐる日々追う愚ろかさ振り捨てて
明日を夢見る春待つところ
限りなく農を愛しみ炎天を
畑に急ぎぬ逃げ水追える
缶ビール一気に飲んでこの「至福」
この「幸福」は何時迄続く
常に無き冷たさ伝わる寒の水
亡父に備えて一日始まる
早春の陽はやさしく一時を
心とみて部屋にこもりぬ

工藤キヌエ
凍返る大地に鍬を振り下ろす
日々の暮らしを考えながら
受験生踏ん張れ君たちの肩に
託しているぞ日本の未来
早春の里の長閑でゆつくりの
時を楽しむやうに吹く風
春の星折りたいのは只平和
争ふことの無意味さを説く

小田慶喜

川柳

どこからか鶯笛を吹く音が
ケキヨケキヨからのホーのつまづき
雪掻けば早や草の芽の青々と
伸びる準備の整つてをり
受験子の列の無言を校門の
吸ひ込み支持の拡声器鳴る
豆撒きに逃げたる鬼は何処へと
問ひくる孫の難題ぎくり

小田和子

利他の心感じられないその言動
心の旅続いているのは走馬灯
新聞読むアップデートする脳の中
温暖化足並み乱すエゴイズム
今も尚癒やせないでいるコロナ策
すぐ分かる声の人以外詐欺電話

寛連坊

メモ用紙うっかり捨てたかごみの中
当て外れ腹の底まで見せてない
大それた希望を啜う皮下脂肪
まだ希望あるから迷う交差点
晩年の「幸せ」という当て外れ

工藤キヌエ
節分の鬼役ふるえながらウオー
豆撒いて寄るハト天使と思いましょ
春動くよろめき焦る老いる脚
春吹雪小さく小さくうずくまる

小田慶喜

デザートにひとつ百円ふきのとう
針供養針持ったのはいつだっけ
もう止めていいかと思うバレンタイン
二杯目も美味いと思う蜆汁

小田和子

俳句
ポケットの手を握りしめ余寒かな
草を焼く煙の中に立つ孤独
春めきを風に教はる畑仕事
草を焼く煙と空を仰ぐ土手

小田慶喜

はあと息残る寒さの中歩む
堅雪を踏みしめ大地確かめる
春遅しゆるりと歩む白き道
ずつしりと大地覆ふや牡丹雪

小田和子

投稿される皆様へ
短歌、川柳など毎月の投稿ありがとうございます。
クローズドクイズ応募用紙と同じ住所へ投稿してください。(JA津
軽みらい文芸広場宛)また、読みづらい漢字には必ずフリガナをお願い
します。次回は5月に掲載となります。よろしくお願ひします。